

〈入級までの流れ〉

① 保護者や本人から
担任、特別支援教育コーディネーター
へ相談

②特別支援教室の見学・体験（保護者同
伴）

③保護者、本人で検討後、担任に報告

④在籍校の校内委員会における検討

⑤学校から教育委員会へ申し込み

⑥教育委員会へ来所面接（保護者同伴）
※医療機関の受診や発達検査が必要に
なることがあります。

⑦就学相談調整会議の結果によって特別
支援教室への入室の可否が決定します。

一日の時間割（例）

	学習予定
1校時	在籍学級の授業
2校時	個別学習
3校時	小集団
4校時	在籍学級の授業
給食・昼休み	
5校時	在籍学級の授業
6校時	在籍学級の授業

巡回指導教員が各中学校に出向き、在籍学級
担任や教科担任と連携して生徒の適応状態に
応じた指導を実施します。



特別支援教室のご案内



八王子市立長房中学校

（学校代表）

電話 042-664-1480

FAX 042-667-5421

拠点校直通（浅川中学校特別支援教室）

電話 042-661-0148

<学級概要>

(1) 拠点校

八王子市立浅川中学校
特別支援教室くりやま

拠点校直通電話 042-661-0148

(2) 巡回校

横山中学校 (Tomorrow)
長房中学校 (かがやき)
館中学校 (くりやま)
陵南中学校 (ふれあい)

(3) 職員

担任 末光 真之 (主任)
今井 鮎子
岩本 岳朗
岡本 和樹
石井 麻佳
伊藤 結菜
財前 吉彦

専門員

浅川中学校：谷 淳子
横山中学校：山口 俊浩
館中学校：諸角 久美子
長房中学校：矢野 佳代子
陵南中学校：松木 実

特別支援教室対象の生徒

次のような生徒を対象としています。

★通常の学級での学習形態では、知識・技能が定着しにくい生徒。

★「聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する」等、特定の力の習得が難しい生徒。

★自分の感情や行動のコントロールが苦手で対人関係や集団の適応が難しい生徒。

特別支援教室での指導

★生徒の良さを伸ばす環境

落ち着いた環境の中で、精神的安定を図り、生徒のもっている力を引き出し、自信がもてるように指導していきます。

★生徒一人一人への対応

生徒一人一人の状態に応じて個別指導計画を作成し、課題に応じて個別指導及び小集団（グループ）での指導を行います。

★人間関係を深める活動

特別支援教室で学習をしている生徒同士が人間関係を深めることや社会性を育むためのコミュニケーション学習を行います。

※教科の遅れを補充する指導とは異なり、生徒一人一人に応じた自立活動を併せた特別な補助指導を行うものです。

指導内容（例）

学習場面で現れる課題	指導事例
◆コミュニケーションがうまく図れない。	○ロールプレイ等で、適切な会話ができるようにするための指導
◆相手の立場になって考えることが難しい。	○物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導
◆注意を集中し続けることが難しい。	○いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようにするための指導
◆授業中に席を離れてしまったり、質問の途中で答えてしまったり、他の人がしていることを邪魔してしまったりする。	○順番に人の話を聞くなど、ルールに従って中々答えてしまったり、行動できるようにするための指導
◆音読や書くこと、計算すること等の一部又は複数のことが特に苦手である。	○自分にあった学習方法を習得し、その方法を取り入れて、学習ができるようにするための指導
◆見通しを立てることが苦手である。	○計画を立てて実行し、継続して取り組むための指導
◆自分の気持ちをコントロールすることが難しい。	○自分の気持ちのコントロールの仕方やリラックス、気分転換の方法を考えるための指導